



台東デザイナーズビレッジ 視察見学会報告書

- ◆日 時：平成27年2月19日（木） 15：30～19：00
- ◆会 場：台東デザイナーズビレッジ
東京都台東区小島2-9-10
- ◆懇親会：魚旬 北陸の漁師・仲買の魚屋さんで
- ◆参加者：18名



開催趣旨

台東デザイナーズビレッジは平成16年4月、台東区旧小島小学校跡を改装して作られたファッション関連業種の創業支援施設。全国に300から400カ所あると言われる創業支援施設の中で、シューズ、バッグ、アクセサリー等ファッション雑貨分野のデザイナーに対象者を絞った施設としては日本で唯一の施設です。

台東区は、靴、鞆、アクセサリー等のファッション雑貨関連産業が集積している地域。しかし、受注型のビジネスが主流である地場産業の活力、競争力を高めるためには、デザインに優れた高付加価値商品を開発することが求められていました。

そこで、若手デザイナーや創業者にビジネスの場を提供し、この地域に誘致することで、将来的にデザイナーが集まる地域を形成していくことが、地域活性化のためには不可欠であるという長期的なビジョンに基づき創設されたとされています。（台東デザイナーズビレッジインキュベーションマネジャー(村長) 鈴木 淳氏の論文から）

今回は、村長の鈴木様に現状のお話を頂きながら施設を見学、その後意見交換会、懇親会を開催しました。

鈴木淳村長の講演



鈴木淳村長



15時30分から鈴木村長のご講演をいただきました。

また視察会の最後に、
地元で情報発信を続ける
今村ひろゆき氏
（東東京マガジン主催者）
に台東エリアの若者達の
情報発信の状況について
報告いただきました。



今回視察会では、田辺理事にファシリテータをお願いしました。



今村ひろゆき氏



田辺理事



施設全景：台東デザイナーズビレッジは旧小島小学校校舎を活用



鈴木淳村長の講演趣旨

オープン当初

- ・頼まれたから入居した
- ・アドバイス不要
- ・他入居者と交流の意味がない
- ・倉庫代わりに使う
- ・又貸して本人は来ない

オープン1年後の施設公開
閉じたままの部屋がいくつも

甲府の宝石工場見学



メディア掲載やメディア開発を通じ

情報発信を行う

※ドラマチックの関わるプロジェクトはトータルで
年間100媒体程度のメディアに登場。

気をつけていること

- ◆事業よりも人の成長
- ◆個性を活かすアドバイス
- ◆トラブルを防ぎ、失敗を乗り越える
- ◆工場や職人との関係づくり
- ◆販売店やファンを増やしていく

廃校再利用として大成功を納めている当施設鈴木村長の講演は、設立当初から順風満帆ではなかったこと、その間の区の施設としての様々な規則の範囲の中で奮闘したこと等が報告されました。徐々に施設への入居者のレベルが上がり、宝石の工場見学等を実施して（右上写真）居住者の仲間意識も生まれ成功していきます。左下スライドはゲストの今村ひろゆき氏（東東京マガジン主催者）のスライド。街づくりに期待。

現場視察 全国から集ったクリエイターの素顔



鈴木村長の講演の後、校内の様々な施設を視察しました。実際に入居しているクリエイターの皆様の「教室」をお尋ねし、熱い思いに触れることができました。

The top-left photograph shows a colorful mural on a wall, featuring a large red dinosaur and several children playing around it. The top-right photograph shows a display of various Japanese magazines and posters on a wall, including one titled 'ENDO ALUMNI'. The bottom-left photograph shows a magazine rack filled with various Japanese magazines, including 'FEMALE', 'Wallpaper*', 'L'OFFICIEL', 'PIGARO', 'NYLON', and 'Can'. The bottom-right photograph shows a chalkboard with a hand-drawn diagram of a magazine rack layout. The diagram includes dimensions and calculations for the rack's structure.

6

熱を帯びたディスカッションが行なわれました



どの地域でも共通の課題。廃校利用。その運営の様々な課題について熱心にディスカッションがかわされました。

懇親会 入居者の皆様も参加し意見交換



勉強会の後、近くにある隠れ家「魚旬」で懇親会。北陸の魚の仲卸の魚屋さんの裏に隠れたこの店で、旬な日本海の魚を頂きながら懇親しました。